

ホームページ公開・研究対象者情報通知用

**研究課題名：** 2 大学におけるチーム医療教育の教育効果に関する研究

・はじめに

チーム医療の実践は、医療現場に出て直ちにできるようなものではなく、学生時代から専門領域を超えて、同じ場所で共に学びながら、相互の職能を理解し合い、問題解決を図る訓練をして始めてその能力が培われるものであると報告されています。またそのための教育として、多職種連携教育が重要視されています。

その多職種連携教育における先行研究において、学生の態度による評価が提案されています。バー氏は、多職種連携教育が卒業生や学部学生のチーム医療に対する態度の獲得に重要な役割を担っていると報告されています。しかし、先行研究において、世界においても多職種連携教育プログラムが実施されていますが、多職種連携教育の長期的効果の評価する根拠は極僅かであること、多職種連携教育プログラムの実施時期について検討されていること、資格取得前の多職種連携教育カリキュラムを総合的に評価できていないこと、1 大学、1 施設に限定された研究結果であること、多職種連携教育において対照研究が皆無であることが報告されています。

以上のことから、本研究の目的は、カラン氏らによって開発されたチーム医療教育に対する態度の指標を用いて、2 大学におけるチーム医療教育の教育効果を縦断と横断の両側面から明らかにすることです。

また本研究の取り組みにより、多専攻職種の態度をポジティブに促進するため実習で対象となる疾患の選定やグループワーク内容の改善、また実習施設の選定、開講時期などのカリキュラムの修正や現場のニーズである専門職としての知識のみならず、多職種との連携や協働のため知識や技術を兼ね備えた卒業生を生み出すという効果を得ることができると考えます。また、チーム医療教育を履修した医学科の態度の将来的評価に対しての実態把握をすることができると考えています。さらにこれらの研究活動を報告することによって、教育改善につながると考えます。

・対象

1. 群馬大学医学部保健学科

2012 年度から 2015 年度の 1 年生前期開講科目「チームワーク原論」履修生と、保健学科 3 年生に開講する「チームワーク実習」履修生 約 1,600 名

2. 金沢大学医薬保健学域保健学類

2012 年度から 2015 年度の 1 年生と 3 年生 約 1,600 名

## ・研究内容

### 1. 無記名式質問紙調査

#### 1) The modified Attitudes towards health care teams (修正版 ATHCTS)

チーム医療に対する態度を評価する 14 項目から構成されています。

#### 2) The modified Readiness for Interprofessional Learning Scale (修正版 RIPLS)

チーム医療教育に対する態度を評価する 15 項目から構成されています。

### 2. データ分析

統計処理は、SPSS Ver.22.0J を用いて、主因子法による因子分析 (バリマックス回転)、共分散構造分析、Wilcoxon 符号付順位和検定、Mann-Whitney の U 検定を用いて差の検定を実施します。

前述の対象者に対して、教育目的にて実施したアンケート調査を研究目的にて実施します。

そのため、各大学の学生掲示板とホームページにて、当該学部学生や卒業生に対し、アンケート調査を研究目的に使用する旨の公開を行います。またこの件に関する問い合わせ先を研究責任者とします。公開後、削除依頼のあった当該学生のアンケート用紙を任意の番号である個人番号を用いて削除します。任意の番号である個人番号を失念している場合には、その学年全てのデータを削除します。

問い合わせ期間を 1 ヶ月間とします。原則的にその期間に問合せがなかった場合には研究への参加に同意が得られたものとします。ただし、問い合わせ期間を過ぎて、問い合わせがあった場合においても対応するものとします。

公開 1 ヶ月後に問合せのなかった対象者のみの記入済み調査用紙を金沢大学の研究分担者より借用します。

## ・個人情報の管理について

### 1) 個人情報の管理・取扱い

研究実施責任者によりデータ管理を行うこと、対象者個人のデータを開示しないことにより、個人情報を保護します。また、研究期間終了後、全てのアンケート用紙を直ちにシュレッダーを用いて、裁断による破棄をする。PC に保存された Excel や SPSS のファイルは、データ抹消ソフトを用いて、削除する。記入済み調査用紙は、群馬大学大学院保健学研究科 牧野研究室にて保管します。

### 2) 個人情報管理者

氏名 牧野 孝俊

機関名 群馬大学大学院保健学研究科

住所 〒371-8514 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

電話 027-220-8775

メール tmakino@gunma-u.ac.jp

### 3) 公表等研究成果の開示

分析された資料は研究実施責任者または研究分担者のみが閲覧・使用し、その他の人に公開することはしません。データは研究と教育改善を目的に使用します。また、本研究の成果は、学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

#### ・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より西暦 2021 年 3 月 31 日まで

#### ・対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

##### 1) 個人への利益

・ 研究対象者に対する直接的な利益はありません。

##### 2) 個人への不利益

・ 調査方法質問紙調査であり、対象者への侵襲はありません。

・ 参加しない場合の不利益は、学生の成績への影響も含め一切ありません。

・ 本研究に要する費用は、研究実施責任者の法人運営費をもって充てます。また、研究分担者についても、費用の負担はありません。

#### ・医学上の貢献

先行研究において、世界においても多職種連携教育プログラムが実施されていますが、多職種連携教育の長期的効果を評価する根拠は極僅かであること、多職種連携教育プログラムの実施時期について検討されていること、資格取得前の多職種連携教育カリキュラムを総合的に評価できていないこと、1 大学、1 施設に限定された研究結果であること、多職種連携教育において対照研究が皆無であることが報告されています。

このため、研究対象者に多職種連携教育を実施していない大学を含めた 2 大学の学生に拡大し、横断的・縦断的な変化を解析することにより、多職種連携教育の教育効果を評価することを目的とし研究に取り組む必要があると考えます。

#### ・利益相反に関する事項について

本研究の利害関係について、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ます。研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、本研究の利害関係について公正性を保ちます。また本研究は、特定の企業からの資金提供を受けていないため、研究の公正さを損なうことはありません。

・研究責任者または分担者の氏名、職名および連絡先

この研究を担当する責任者および連絡先は以下のとおりです。

研究責任者

職名： 群馬大学大学院保健学研究科 講師  
氏名： 牧野 孝俊  
連絡先： 027-220-8775

研究分担者

職名： 群馬大学大学院保健学研究科 教授  
氏名： 渡辺 秀臣  
連絡先： 027-220-8945  
職名： 群馬大学大学院保健学研究科 教授  
氏名： 篠崎 博光  
連絡先： 027-220-8970

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

氏名 牧野 孝俊  
機関名 群馬大学大学院保健学研究科  
住所 〒371-8514 群馬県前橋市昭和町 3-39-22  
電話 027-220-8775  
メール tmakino@gunma-u.ac.jp

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

(1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

(2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）

(3) 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知

(4) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明